



市民クラブ
荒木 文一
議員

次年度職員採用と社会人枠採用について

質問 タッグ計画時の職員数（353名）と現在の職員数（342名）のかい離について、どう考えているのか。また、年齢構成の歪みを解消できる社会人枠採用のあり方を伺う。

答弁 業務量から350人は必要と考えており、その達成に向けて努力します。社会人枠採用については、多様な幅広い人材確保を目的に、求める具体像を示し「チャレンジ枠」としています。総合計画を勘案した業務量に基づく職員配置に努力したいと思います。

コンパクトシティについて

質問 コンパクトシティ形成を後押しするため、郊外の福祉施設の移転、中心部への共同住宅の建設などへの、市町村財政支援制度についての報道があったが、詳細について伺う。

答弁 平成25年度概算要求に盛り込まれ、年度内施行を検討していると聞いています。詳細は示されていませんが、例えば所有者の所得税を軽減するなど、市の認定制度を活用することを想定していること、地方のコンパクトシティ形成に向けた民間投資を促すための国の政策と認識しています。



▲市営住宅駅前団地

地方交付税先送りの影響について

質問 特例公債法案が未成立となっているために地方自治体への地方交付税配分が先送りされていることについて、本市への配分は満額となったのか。また、道の補助事業に関わる影響や、仮に金融機関からの借入が発生した場合の利子負担はどうなるのか。

答弁 9月10日に満額支給となりました。補助金関係の影響は想定していません。また、市が緊急借入した場合の利子負担は、当然国が負うものと認識しています。



市民クラブ
窪之内美知代
議員

「新滝川市活力再生プラン」の結果評価と市民へのメッセージ

質問 「改革と改善」「再生戦略」を両輪として進めてきた再生プランの結果をどう評価しているか。

答弁 104項目の改善に取り組み、収支改善分で8億1,701万円の効果となった。（達成率79・3％）再生戦略では白鵬米のブランド化、延長保育の拡大、学校改築事業、新病院のグランドオープン等、着実に前進したと評価している。市民と行政がタッグを組み、一丸となって取り組むことができ、心から感謝申し上げたい。

（株）滝川グリーンズ（ふれ愛の里）への市の支援

質問 市が依頼した「滝川グリーンズの経営状況報告書」に基づく検討事項や提案事項の柱は。

答弁 レストランのレイアウトなど3項目については行政が中心となり、営業時間の短縮など5項目

については滝川グリーンズが中心となって検討を行い、可能なものから取り組みます。

質問 行政負担が過度と判断する基準や時期についての考え方。

答弁 特別な事情を除き、赤字経営が見込まれ、現状の行政負担を上回る状況になった時点。

社会福祉事業団への緑寿園ほか13施設譲渡へ向けた取り組み

質問 市が築いてきた貴重な施設であり、事業団の施策の方向性や事業展開に市が関与できるような役員体制を求めるべき。こうした意向が聞き入れられない場合、方針変更も検討すべき。

答弁 市の考え方が着実に引き継げる体制を築いてもらうことが重要。その中心は理事会。役員改選に向け話し合う。歩みを進める中でいろいろな選択肢もあるが、慎重な判断が必要。市民・議会の理解が得られる形で進めていきます。

質問 あい גם 解体施設の購入について事前相談はあったのか。

答弁 現施設の老朽化や土地購入等の相談は受けてきたが、赤平の施設購入について事前相談はない。